2014年5月以降

ドアポケットに入れてお使いください

LEVORG

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
レヴォーグを楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めてレヴォーグに触れられるときにぜひご一読ください。

基本操作
各部の名称と使い方
便利な機能
表示灯・警告灯
こんなときは

SUBARU

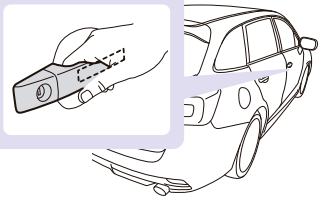
クイックユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

1 鍵を開ける

を押す。

または、

アクセスキーを携帯し、ドアハンドルを握る。



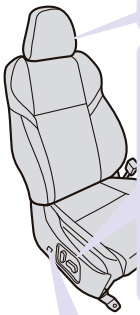
アクセスキーが作動しないときは・・・

電波ノイズの影響または電池切れが考えられます。
再度操作しても作動しないときは、メカニカルキーでの操作も可能です。キーの電池の消耗・故障の場合は、スバル販売店にご相談ください。

詳細は、**P.22「こんなときは」**をご覧ください。

2 シートを調整する

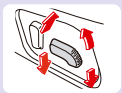
パワーシート



ヘッドレスト調整

スライド調整（前後の調整）

リクライニング調整



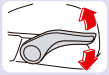
上下・座面前側の高さ調整

マニュアルシート

ヘッドレスト調整

リクライニング調整

上下調整（運転席のみ）



スライド調整（前後の調整）

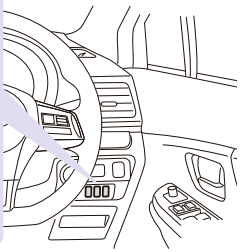
ランバーサポート

（腰部支え調整）

メモリーシート

お好みのシート位置を登録できます。

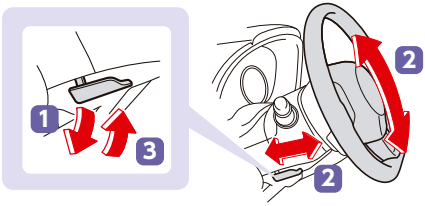
詳細は、**取扱説明書「第2章 運転する前に - フロントシート -」**をご覧ください。



※エンジンがかかっているときに調整してください。

一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✂ マークがついています。

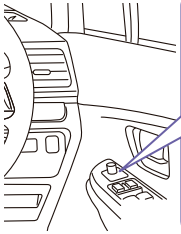
3 ハンドルの位置を調整する



1 チルト / テレスコピックレバーを押し下げる。
2 ハンドル位置を合わせる。
3 チルト / テレスコピックレバーを引き上げる。
※ハンドルが固定されたことを確認してください。

4 ミラーの向きを調整する

エンジンスイッチがACCまたはONのときに調整できます。



電動リモコンドアミラー
調整するミラーを選ぶ：「L」または「R」に回して切り替える。
向きを調整する：スイッチを上下左右に動かす。

電動格納式ドアミラー
左右のミラーを同時に格納、通常の使用位置に復帰。

5 エンジンをかける

ブレーキペダルをしっかり踏む

プッシュエンジンスイッチを押す

エンジンが始動

緑色（点灯）

消灯

下記のようなときは・・・

橙色（点滅）　車両の異常が考えられます。直ちにスバル販売店にご連絡ください。

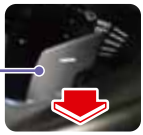
緑色（点滅）　ステアリングロックが解除されていません。

6 セレクトレバーを操作する

マニュアルモード
セレクトレバーを D から M に動かすとマニュアルモードになります。**パドルシフト**で変速できます。

パドルシフト

1段下のギヤに変速



1段上のギヤに変速

7 エンジンを止める

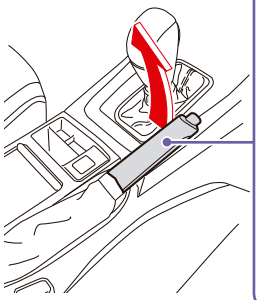
車を完全に停止する

セレクトレバーを P の位置にする

プッシュエンジンスイッチを押す

確認してください!

セレクトレバーが P 以外でもエンジンは停止しますが、電源は **ACC**（橙色 に点灯）になります。
車から離れるときは、電源が **OFF**（消灯 ）になっているか確認してください。



駐車するときは、車が動き出さないように**パーキングブレーキ**をかけてください。

電動パーキングブレーキの場合

かける

解除する

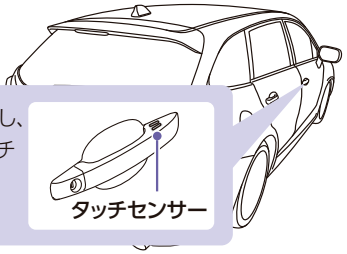
一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✠ マークがついています。

8 鍵を閉める

を押す。

または、

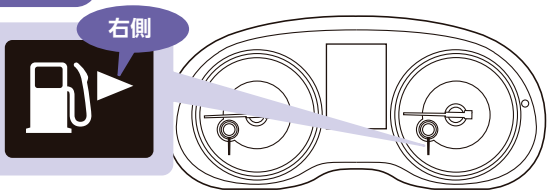
アクセスキーを携帯し、ドアハンドルのタッチセンサーに触れる。



9 給油する

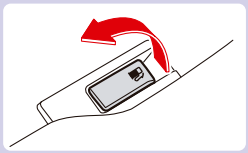
フューエルリッド（燃料給油口）の位置

メーター表示部の燃料計にフューエルリッド（燃料給油口）の位置を示す表示があります。



フューエルリッドを開ける

運転席右下の**フューエルリッドオープナーレバー**を引き上げる。



指定燃料	タンク容量
1.6L 車： 無鉛レギュラーガソリン	約 60L
2.0L 車： 無鉛プレミアム （無鉛ハイオク）ガソリン	

詳細は、**取扱説明書「第2章 運転する前に」、「第3章 運転するとき」**をご覧ください。

電動パーキングブレーキスイッチ

詳細は P.4「基本操作」をご覧ください。

アイドリングストップOFFスイッチ

押す
アイドリングストップが作動停止状態になる

※仕様によりスイッチの位置が異なります。

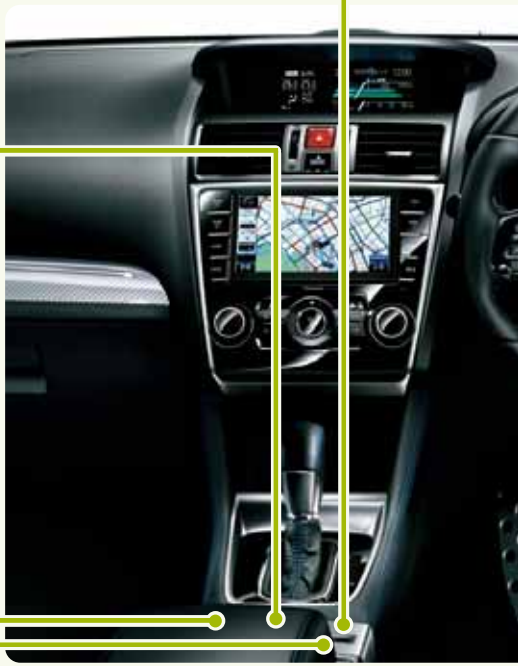
詳細は P.19「便利な機能」をご覧ください。

ヒルホールドスイッチ

ヒルホールド機能
上り坂でブレーキペダルを踏んで停車したとき、約1秒後に自動的に電動パーキングブレーキが作動する機能です。

押す
ヒルホールド機能が ON になる

ヒルホールド表示灯
（点灯）



シートヒータースイッチ

HI ：早く暖めたいとき
LO：保温するとき
（通常使用位置）

表示灯
作動中に点灯

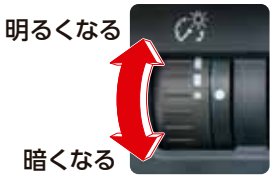
プッシュエンジンスイッチ

電源の切り替え
ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。
（エンジンはかかりません）

一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✂ マークがついています。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。



マニュアルヘッドランプレベラー ✂

ヘッドランプの照らす高さを調節します。
通常はダイヤル0の位置で使用します。

VDC OFFスイッチ

特殊な状況下において、VDC を一時的に解除したほうが、走破性が向上するという場合に使用します。
※通常は ON でご使用ください。

※仕様によりスイッチの位置が異なります。

詳細は **P.17「便利な機能」**をご覧ください。

集中ドアロックスイッチ/パワーウィンドゥロックスイッチ

集中ドアロックスイッチ
全てのドアの施錠・解錠ができる

ロックスイッチ
助手席と後席のウインドゥは開閉できなくなる

メモリーシートスイッチ ✂

お好みのシート位置を登録、呼び出しできます。
「1」または「2」およびアクセスキーごとにシート位置を登録して、呼び出しができます。

設定のしかたは、
取扱説明書「第2章 運転する前に - フロントシート -」をご覧ください。

ワイパー&ウォッシャースイッチ/ヘッドランプウォッシャースイッチ

フロントワイパー

MIST	手動で作動
OFF	停止
AUTO	雨滴量により自動作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

リヤワイパー

(上側)	連続作動中にウォッシャー液が噴射
HI	連続作動
LO	間欠(低速)作動
OFF	停止
(下側)	ウォッシャー液が噴射しワイパーが作動

ヘッドランプウォッシャー

ヘッドランプが点灯しているとき、1秒以上手前に引く

マルチインフォメーションディスプレイ操作スイッチ

詳細は P.18「便利な機能」をご覧ください。

マルチファンクションディスプレイ操作スイッチ

詳細は P.17「便利な機能」をご覧ください。

チャイルドプルーフ (リヤドア)

「LOCK」側にすると、車内からはリヤドアを開けられません。

一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✂ マークがついています。

クルーズコントロールスイッチ ✂

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。

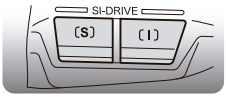
■全車速追従機能付クルーズコントロール（EyeSight 装備車）
車速を一定に保って走行。同一車線上に先行車がいる場合は、追従して走行します。

■クルーズコントロール（EyeSight 装備車以外）
車速を一定に保って走行します。

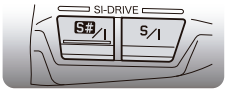
SI-DRIVEスイッチ

使用場面に応じて、走行モードを選択できます。

1.6L車



2.0L車



詳細は P.16「便利な機能」をご覧ください。

ライティングスイッチ/フォグランプスイッチ

ライティングスイッチ

≡D	車幅灯、尾灯、番号表示灯、ヘッドランプ	メーター内表示灯
●	車幅灯、尾灯、番号表示灯	
AUTO	センサー感知により自動点灯	

ヘッドランプの上下を切り替える
上向き：レバーを前に押す

メーター内表示灯

下向き：レバーを元に戻す

パッシング（合図）
レバーを手前に引いている間、ランプは上向きになります。

フォグランプスイッチ

メーター内表示灯

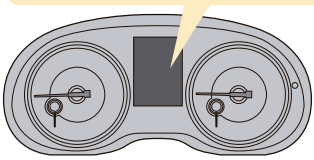
≡D	リヤフォグランプ ✂	≡D
≡D	フロントフォグランプ	≡D

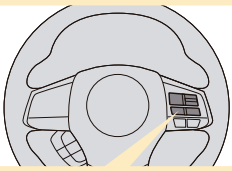
EyeSight (ver.3)

EyeSight (ver.3) は自動運転／自動衝突回避システムではありません。
EyeSight (ver.3) だけに頼った運転は、絶対に行わないでください。
周囲の状況に注意して安全にご使用ください。ご使用の前には取扱説明書をお読みください。

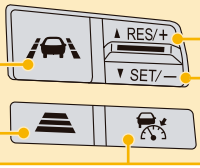
EyeSight (ver.3) はさまざまな機能によって運転者の判断を助け、安全・快適で疲れの少ない運転を可能にする運転支援システムです。

マルチインフォメーションディスプレイ





ステアリングスイッチ



レーンキープスイッチ
アクティブレーンキープをON/OFFする

RES/+スイッチ
・セット車速を上げる
・一時解除から復帰する

車間設定スイッチ
先行車との車間距離設定を切り替える

長　中　短

クルーズスイッチ
・クルーズコントロールをON/OFFする
・クルーズコントロールのセット状態を解除する

SET/−スイッチ
・セット車速を下げる
・クルーズコントロールをセットする

詳細、各種設定については、**EyeSight 取扱説明書**をご覧ください。

一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✕ マークがついています。

全車速追従機能付クルーズコントロール（ついていく技術）

前方の自車線上の先行車をステレオカメラにより認識し、運転者が設定したセット車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら追従走行する機能です。
本機能は高速道路などの自動車専用道路でお使いください。

全車速追従機能付クルーズコントロールの使いかた

ON

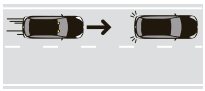
セット可能状態になると READY が表示されます。

セット車速と SET が表示されます。

先行車がいない場合

SET が点灯し、**セット車速（約40km/h～100km/h）で定速走行します。**

先行車がいる場合

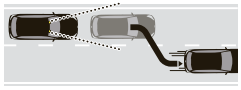


[先行車を認識すると]
セット車速を上限として追従走行します。

“ピッ”と鳴り、先行車表示が出て、追従クルーズ表示が緑色に変わります。

〈ブレーキ踏み増し要求警報〉
追従走行中に、クルーズコントロールによるブレーキ制御では減速しきれないと判断した場合、音と表示でお知らせします。

先行車がいなくなった場合



[先行車を認識しなくなると]
セット車速まで加速して定速走行します。

“ピッ”と鳴り、先行車表示が消えて、追従クルーズ表示が白色に変わります。

一時解除

または、
ブレーキペダルを踏むと一時解除できます。

OFF

SET HOLD が消えた状態で

アクティブレーンキープ（はみださない技術）

車線中央維持機能

全車速追従機能付クルーズコントロールをセットしているときに使用できます。

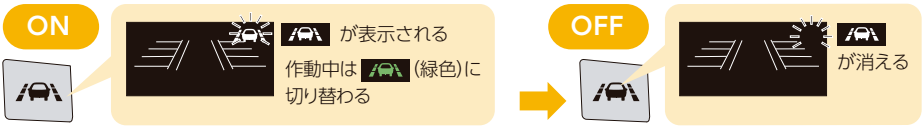
自車速約 65km/h～100km/h で走行時、車線の中央付近を維持するようにハンドル操作をアシストします。

車線中央維持機能の使いかた

車線逸脱抑制機能

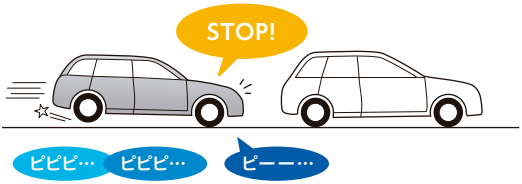
高速道路や自動車専用道路を自車速約 65km/h 以上で走行時、車線からはみ出しそうになると警報が鳴り、同時にシステムがハンドル操作をアシストして、車線からの逸脱を抑制します。

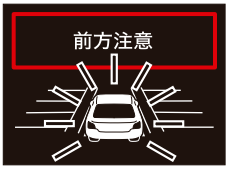
車線逸脱抑制機能の使いかた



プリクラッシュブレーキ（ぶつからない技術）

主に前方車両に衝突する可能性がある場合、警告音と表示でお知らせします。それでも運転者がブレーキを踏まない場合、自動的に急ブレーキをかけます。衝突被害を軽減または衝突を回避する機能です。

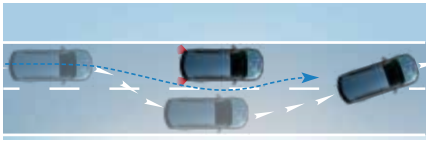




プリクラッシュブレーキ作動後、運転者がブレーキペダルを踏み込んだとき、ブレーキアシストが作動します。

プリクラッシュステアリングアシスト（よける技術）

システムが前方障害物に衝突する可能性があると判断したとき、運転者がハンドル回避操作を行った場合に作動します。



AT誤発進抑制制御/AT誤後進抑制制御（飛び出さない技術）

セレクトレバーの位置の入れ間違いや、ペダルの踏み間違いなどによる誤った前進および後進を抑制します。警告音と警告表示でお知らせします。

AT誤発進抑制制御

セレクトレバーがDまたはMのとき作動します。

AT誤後進抑制制御

セレクトレバーがRでブレーキを踏んでいないとき作動します。

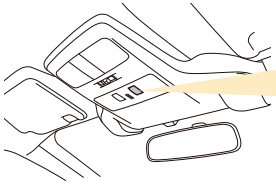
後退飛び出し抑制

後退時、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断したとき作動します。警告音と警告表示でお知らせします。

後退速度リミッター

後退時、必要以上に加速しないように車速を制限します。制限速度は運転者が設定できます。音と表示でお知らせします。

プリクラッシュブレーキ、プリクラッシュステアリングアシスト、AT誤発進抑制制御、AT誤後進抑制制御をOFFにするとき



プリクラッシュブレーキOFFスイッチ

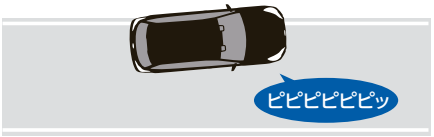
約2秒以上押し続ける

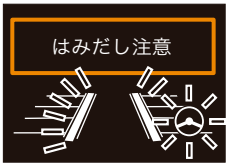
プリクラッシュブレーキ（プリクラッシュブレーキアシスト、プリクラッシュステアリングアシストを含む）とAT誤発進抑制制御、AT誤後進抑制制御がOFFになります。

警報&お知らせ機能（注意してくれる技術）

車線逸脱警報

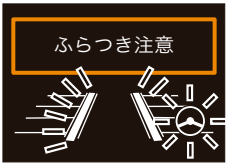
自車速が約 40 km/h 以上で走行中に走行車線からはみだしそうになると、音と表示でお知らせします。





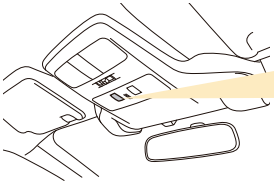
ふらつき警報

自車速が約 60km/h 以上で走行中に連続したふらつきを認識すると、音と表示でお知らせします。



（車線は交互に点滅）

車線逸脱警報、ふらつき警報をOFFにするとき



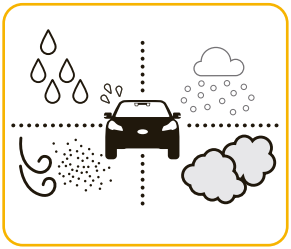
車線逸脱警報 OFF スイッチ
約2秒以上押し続ける
車線逸脱警報とふらつき警報がOFFになります。

先行車発進お知らせ

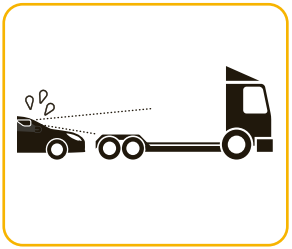
先行車が発進して約 3m 以上進んでも自車が停止し続けた場合、音と表示でお知らせします。

こんな場合はEyeSightが作動しないことがあります！

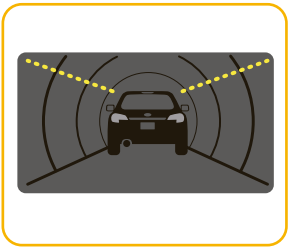
EyeSight (ver.3) は、あらゆる状況で衝突を回避するものではありません。EyeSight (ver.3) の認識性能・制御性能には限界があります。



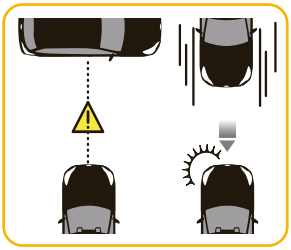
逆光、濃霧、はげしい雨



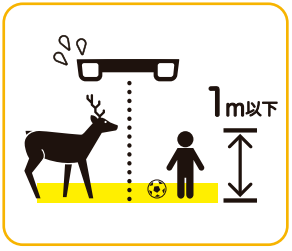
トレーラーなど
特殊な形状をしている車



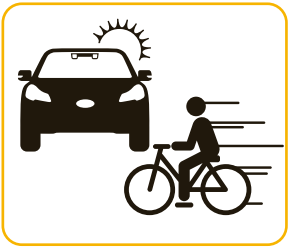
無灯火の車・暗闇



車の側面や対向車

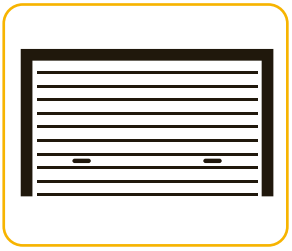


子どもや動物



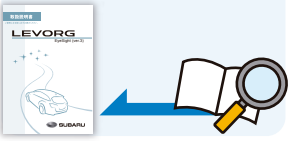
急な飛び出し（自転車や人など）

集団で歩いている歩行者

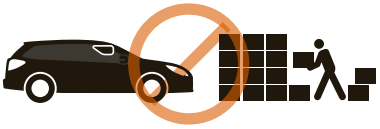


シャッター、模様のない壁

詳細は、
EyeSight 取扱説明書を
ご覧ください。



大変危険です！
ダンボールや別の車両を対象に実験することは、
絶対に行わないでください。

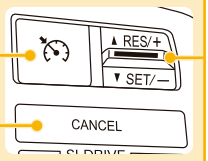


クルーズコントロール (EyeSight装備車以外)

アクセルペダルを踏まなくても約40～100km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる機能です。

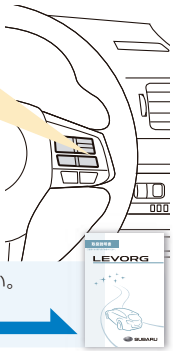
クルーズスイッチ
クルーズコントロールをON/OFFする

CANCELスイッチ
クルーズコントロールを一時解除する



▲RES/+スイッチ
セット車速を上げる/一時解除から復帰する

▼SET/−スイッチ
セット車速を下げる/クルーズコントロールをセットする



詳細は、**取扱説明書「第3章 運転するとき - クルーズコントロール -」**をご覧ください。
EyeSight 装備車は、**EyeSight 取扱説明書**をご覧ください。

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

使用場面に応じて下記の走行モードを選択できる機能です。

I (インテリジェントモード) 市街地走行などの日常の使用に適しています。

S (スポーツモード) 高速道路や郊外の道を走行するのに適しています。

S# (スポーツシャープモード) 山間部での走行や高速道路の合流、追い越し加速時などに適しています。

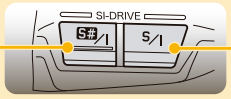
1.6L車

[S]スイッチ
S モードに切り替わる

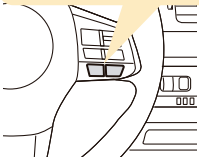
[I]スイッチ
I モードに切り替わる

2.0L車

S#/Iスイッチ
S#モードと**I モード**が切り替わる



S/I スイッチ
I モードと**S モード**が切り替わる



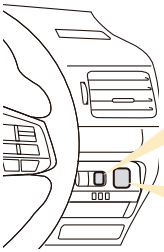
詳細は、**取扱説明書「第3章 運転するとき -SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)-」**をご覧ください。

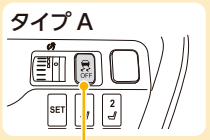
一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✂ マークがついています。

VDC OFFスイッチ

下記のような特殊な状況下において、VDC を一時的に解除したほうが、走破性が向上するという場合に使用します。

ー 雪や砂利などで覆われた急登坂路で発進するとき
ー ぬかるみ、深い雪にタイヤが埋まった状態から脱出するとき





押す　VDCが解除されます

VDC OFF 表示灯
点灯：VDC 解除状態
消灯：VDC 作動可能状態

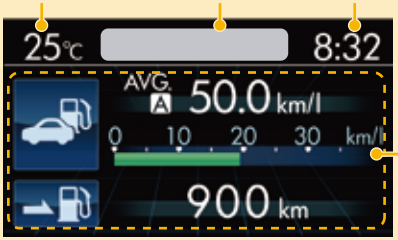
詳細は、**取扱説明書「第5章 安全装備 -VDC-」**をご覧ください。

マルチファンクションディスプレイ

時計や燃費などを表示したり、メンテナンス時期、誕生日などのお知らせ画面を表示します。

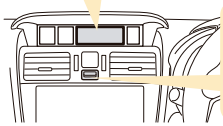
基本画面

外気温度計　平均燃費、瞬間燃費、航続可能距離（残走行距離）のいずれかを表示　時計



各種表示画面　操作スイッチで切り替えができます。

燃費表示 ⇔ 高速巡航 ECO チャレンジ
↕
時計 / カレンダー / 画面 OFF ↕ エコゲージ履歴
↕
設定移行画面 ↕ 走行状態表示
↕
ブースト+アクセル開度 ✂ ⇔ 3連メーター



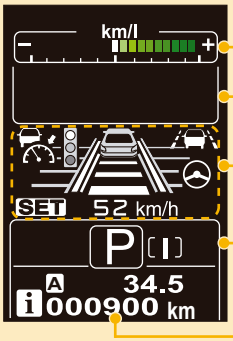
操作スイッチ
・画面表示の切り替え
・日時の登録や画質など各種項目の設定変更

詳細は、**取扱説明書「第4章 室内装備品の使いかた - マルチファンクションディスプレイ -」**をご覧ください。

マルチインフォメーションディスプレイ

運転経過時間などを表示できます。
また、警報や異常などを検知すると警告表示が割り込み表示され、対処法を表示します。
操作スイッチで各種項目の設定ができます。

メーター表示部

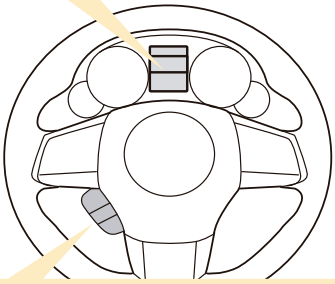


- エコゲージ
- クルーズコントロール表示 または EyeSight 表示
- セレクトインジケーター / シフトポジション表示、SI-DRIVE 表示
- オドメーター(積算距離計)、トリップメーター、i(インフォメーション)マーク

基本画面
操作スイッチで切り替えができます。

表示 OFF ⇔ 走行時間
↕ ↕
設定移行画面 / デジタルスピードメーター
↕ ↕
アイドリングストップ ⇔ SI-DRIVE グラフ

割り込み画面



操作スイッチ

▲ (戻し) スイッチ/▼ (送り) スイッチ
・画面表示の切り替え
・メーターの初期作動など、各種項目の設定変更

i (インフォメーション) /SETスイッチ
・割り込み画面の再表示
・メーターの初期作動など、各種項目の設定変更

詳細は、**取扱説明書**
「第3章 運転するとき - マルチインフォメーションディスプレイ -」をご覧ください。

一部グレードのみに装着されている機能・装備には ✂ マークがついています。

アイドリングストップ ✂

アイドリングストップとは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、燃費向上や排ガスの低減、アイドリング騒音低下のため自動でエンジンを停止・再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジンの再始動

走行中
走行中にアイドリングストップが作動可能な条件を満たすと、アイドリングストップ表示灯が点灯。

アイドリングストップ表示灯

点灯

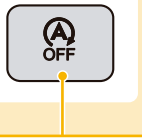
アイドリングストップ作動
D のままブレーキペダルを踏んで停車すると、エンジンが自動的に停止。

点灯

エンジン再始動
D のままブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動。

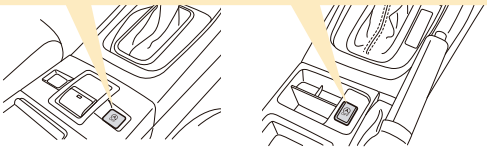
消灯

アイドリングストップの作動を OFF にする



アイドリングストップ OFF 表示灯
点灯：アイドリングストップシステム作動停止状態
消灯：アイドリングストップシステム作動可能状態

押す　アイドリングストップが作動停止状態になります



アイドリングストップ中の操作、アイドリングストップが作動可能な条件、エンジン再始動条件等の詳細は、**取扱説明書「第3章 運転するとき - アイドリングストップ -」**をご覧ください。

詳細は、**取扱説明書「第3章 運転するとき - コンビネーションメーター -」**をご覧ください。

異常時に点灯 / 点滅。安全な場所に停車し、お近くのスバル販売店へご連絡ください。

ブレーキ警告灯
パーキングブレーキがかかっているとき、ブレーキ液が著しく不足しているとき、EBD の電子制御システムに異常があると点灯（ABS 警告灯も同時に点灯）。

AT油温警告灯
CVT のトランスミッションフルードの温度が高くなると点灯。
CVT の異常時に点滅。

エンジン警告灯
エンジン電子制御システム異常時点灯。触媒を損傷する可能性があると点滅。

電動パーキングブレーキ警告灯/バキューム警告灯（電動パーキングブレーキ装備車）
システムに異常があると点灯。

オイルプレッシャー警告灯
エンジンオイルの圧力に異常があると点灯。

チャージ警告灯
充電系統に異常があると点灯。

異常時に点灯 / 点滅。取扱説明書を確認の上、スバル販売店へご連絡ください。

AWD警告灯
異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行すると点滅。

SRSエアバッグ警告灯
エアバッグに異常があると点灯。

オートヘッドランプレベラー警告灯
オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）の電子制御システムに異常があると点灯。

ABS警告灯
アンチロックブレーキシステム（ABS）の電子制御システムに異常があると点灯。

ステアリング制御警告灯
パワーステアリングの電子制御システムに異常があると点灯。

EyeSight警告表示
EyeSight が故障したとき点灯、点滅。

LEDヘッドランプ警告灯
LED ヘッドランプに異常があると点灯。

バキューム警告灯
（電動パーキングブレーキ装備車以外）
ブレーキのバキュームポンプシステムに異常があると点灯。

アイドリングストップ警告灯/アイドリングストップOFF表示灯
警告灯（点滅）：アイドリングストップシステムに異常があると点滅。
OFF 表示灯（点灯）：アイドリングストップ OFF スイッチを押してシステムを解除したとき点灯。

グレードにより装備されていない機能もあります。エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

ヒルスタートアシスト警告灯／ヒルスタートアシストOFF表示灯
警告灯：ヒルスタートアシストの制御システムに異常があると点灯。
OFF 表示灯：ヒルスタートアシストを解除したとき点灯。

VDC警告灯/VDC作動表示灯
警告灯（点灯）：VDCの電子制御システムに異常があると点灯。
作動表示灯（点滅）： TCS 機能作動時、VDC 作動時に点滅。

取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

シートベルト警告灯
運転席シートベルト未着用時に点灯。そのまま走行すると点滅＆ブザー。

燃料残量警告灯
燃料残量が約 9L 以下になると点灯。点灯したときは、すみやかに給油してください。

半ドア警告灯
プッシュエンジンスイッチの状態に関係なくドアまたはリヤゲートが完全に閉じていないとき、点灯。

各装置の状態を示しています。

ライティングスイッチ表示灯

フロントフォグランプ表示灯

リヤフォグランプ表示灯

ハイビーム/パッシング表示灯

アイドリングストップ表示灯

方向指示器表示灯

VDC OFF表示灯

セキュリティ表示灯

SI-DRIVE表示

クルーズコントロール表示

クルーズコントロール車速セット表示

車線逸脱警報OFF表示灯

プリクラッシュブレーキOFF表示灯

電動パーキングブレーキ表示灯

ヒルホールド表示灯

セレクトインジケーター/シフトポジション表示

EyeSight一時停止表示

車の警報が鳴ってしまった!

下記いずれかの操作で、警報は止まります。
・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、プッシュエンジンスイッチを押して ACC にする。

盗難警報装置について

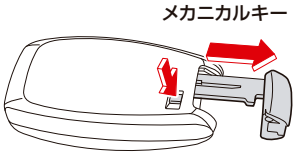
キーレスエントリー(キーレスアクセス機能、電波式リモコンドアロック、暗証コード式キーレスエントリー)以外でドア(リヤゲート含む)が開けられたとき、車両ホーンが鳴り、非常点滅灯(ハザードランプ)が点滅します。
初期設定では「作動なし」になっています。使用する場合は、警報を「作動あり」に設定してください。

取扱説明書「第2章 運転する前に - セキュリティシステム -」

アクセスキーが作動しない!

■メカニカルキーを使用する

ボタンを押し、メカニカルキーを取り出します。
メカニカルキーで運転席ドアを施錠・解錠します。

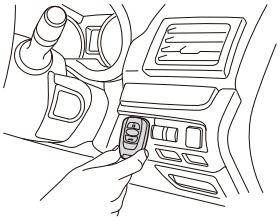


メカニカルキーで施錠・解錠すると、警報が鳴る場合があります!

アクセスキーの電池が少ない状態で警報が作動した場合は、下記の**「アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動」**の手順で電源 ON またはエンジン始動すれば、警報は止まります。

■アクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーが P であることを確認します。
②ブレーキペダルを踏みます。
③アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。
(ブザー (ピッ) が鳴り、プッシュエンジンスイッチが ACC または ON になります。)
④ブレーキペダルを踏んだままプッシュエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。



取扱説明書「第8章 万一のとき - アクセスキーが正常に作動しないとき -」

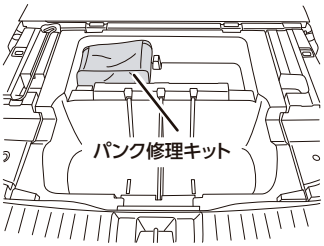
キーについているプレートは?

キーナンバープレートです。
キーナンバープレートは、車両修理や合いかぎを作るときに必要になりますので、車内以外の場所に大切に保管してください。
キーを作るときは、スバル販売店にご相談ください。

キーナンバープレート

タイヤがパンクしてしまった!

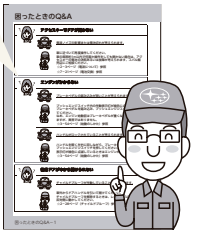
パンク修理キットを使って対応してください。
タイヤパンク修理キットは、カーゴルームの床下に収められています。



※タイヤを交換する場合は、4 輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄、同一トレッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

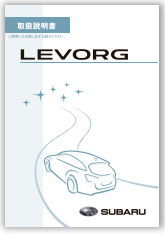
取扱説明書「第8章 万一のとき - パンクしたとき -」

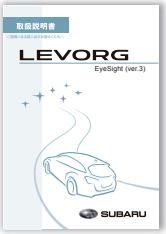
そのほか困ったときは・・・
取扱説明書の巻末「困ったときの Q&A」を参照してください。
取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、
スバル販売店にご連絡ください。



車のご使用前に必ずお読みください

取扱説明書





EyeSight(ver.3)
装備車のみ

車両の取り扱いかたについて必要事項、重要事項を説明しています。

メンテナンスノート

保証の内容および点検・整備について記載しています。

MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール 0120-052215

受付時間【平　日】 9:00～17:00
【土日祝】 9:00～12:00、13:00～17:00
※平日の12:00～13:00および土日祝は
(1) のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工業株式会社
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)
2014年8月17日 (予定) より下記所在地に変更
〒150-8554 渋谷区恵比寿1-20-8 (エビススバルビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
(1) ご意見／ご感想／ご案内 (カタログ、販売店、転居お手続 他)
(2) お問合わせ／ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

Publication No. F1200JJ-A
発行 2014年3月　Printed in Japan
富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター

●スバル最新情報をインターネットで。 **www.subaru.jp**